

かんきょう講演会



日本の水事情と 水道民営化について

改正水道法が可決、成立しました。老朽化した水道管の破裂事故は毎年1000件を超えています。自治体の財政難で更新作業は遅々として進みません。節水社会の浸透と人口減少で料金収入は減少し、更新予算捻出に苦しんでいます。

2017年末、土木学会は「2040年までに水道事業を営む団体の91%が値上げを迫られる」と発表。改正水道法では、水道施設の戦略的な更新・耐震化、給水人口に見合った規模の適正化（統廃合）を行うことを定め、水道の持続を図ります。

また、企業に一定期間運営権を売却するコンセッション方式も採用できるようになりました。宮城県や浜松市、大阪市など前向きな自治体も多くあります。真に持続的な水道事業について考えます。

7/20

(土)

午前10時～正午

会場：区立環境活動推進センター3階 講座室

※高井戸東3-7-4 (井の頭線/関東バス「高井戸駅」から徒歩2分)



講師

アクアスフィア・水教育研究所

代表 橋本 淳司 氏

Hashimoto Junji

～プロフィール～

1967年、群馬県生まれ。学習院大学卒業。水ジャーナリストとして水問題やその解決方法を調査、発信。アクアスフィア・水教育研究所を設立し、自治体・学校・企業・NPO・NGOと連携しながら、「みずから考える人」、「水を語れる人」を育成するなど、水問題を水リテラシーの普及活動（国や自治体への政策提言やサポート、子どもや市民を対象とする講演活動、啓発活動のプロデュース）を行う。近著に『67億人の水』（日本経済新聞出版社）、『日本の地下水が危ない』（幻冬舎新書）、『100年後の水を守る 水ジャーナリストの20年』（文研出版）、『水がなくなる日』（産業編集センター）など。現在、水循環基本法フォローアップ委員会委員、NPO法人ウォーターエイドジャパン理事、NPO法人地域水道支援センター理事。

申込み
問合せ先

杉並区立 環境活動推進センター

〒168-0072 杉並区高井戸東3-7-4

5336-7352

定休日：毎週水曜日・年末年始

対 象：区内在住、在勤、在学の方

参加費：無料

定 員：30名（申込順）

申込み：電話で、6/15から受付

※ 2歳～就学前の託児あり（7/13
までに事前申込制/定員あり/保険料
100円）

※ 長寿応援対象事業
（65歳以上1ポイント）